

第○学年○組 ○○科学習指導案

令和7年6月〇日 〇曜日 第〇時■ (〇〇室)

普通教室以外を使用する場合は（ ）に書く。

指導者 ○ ○ ○ ○

1 ■单 元■ ■ ■ ○ ○ ○ ○ ○

単元名を書く。ただし、国…単元名（教材名）、
美、音、技・家…題材名（学習分野）、体…領域（単元名）と示す。

2 単元の目標

■(1) ■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○しようとする。

- (2) 三つの資質・能力に合わせて、目標を示す。（知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等の順）学習指導要領に沿い、本単元の学習を通して身に付けさせたい力を、生徒の立場で記述する。学びに向かう力、人間性等は「～しようとする」、他の観点は「～することができる」の表現を用いる。※計画案本文参照

3 学習の計画■■■（10時間完了）

■第1次■第1時～第2時■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

第2次 第3時

第4時（本時） ■

第5時

第3次 第6時～第9時

第4次 第10時

単元の目標を達成するためにどのような構成で学習を進めていくかを現在形で記述する。「次」は学習のまとまりを示す。

例：課題把握・計画→追究→深化・発展→まとめ

本時を含む「次」は、それぞれの「時」を独立させて書き、その他の「次」は「～」を使って、「時」をまとめて書く。

「次」を設定しない場合は、「時」をその位置に書く。

4 本時の学習指導

(1) 目 標

[illegible]

単元の目標のいずれかに沿い、本時の学習を通して身に付けさせたい力を、生徒の立場で記述する。学びに向かう力、人間性等は「～しようとする」、他の観点は「～することができる」の表現をできるだけ用いる。目標が複数の場合、観点の順に書く。

(2) 準備・資料

○ 児 童……○○○○○、○○○ (○○○○○○○○○○○○○)

○教 師……○○

教具的なもの、教材的なものを書く。出典や内容は（ ）に簡潔に書く。
教科書等、どの授業でも使うものは書かない。

(3) 関 連

■■■小6■社会■■■■■■ (■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■)

■■■○年■■社会■■

関連の深い単元を、学年、教科、単元名の順に書く。（ ）に内容を簡潔に書く。小学校との関連、他教科・他領域との関連も考慮するとよい。

(4) 學習過程

段 階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
○ ○ ○	<p>1 ■○○○ 1 単位時間の流れに沿って ■(1) ■○○ 学習活動と学習内容を生徒 の立場で、簡潔に記述する。</p> <p>(2) 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ○○○○○○○○。</p>	10	<p>○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ■○○○○○○○。</p> <p>生徒の学習活動を促すための指導者の 手だて、発問・指示・板書・教材教具 の活用等で配慮すること、予想される つまずきに対する支援を具体的に記述 する。左側の学習活動とできるだけ位 置を合わせて書く。</p>

<p>2 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○ (1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○ ■■■ ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○ (2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>■■■・○○○○○○○</p>	<p>1 → 主な学習活動、学習内容</p> <p>(1) → 1 を受けた具体的な学習活動、学習内容</p> <p>○ → (1) をさらに具体化・細分化した学習内容</p> <p>・ → 予想される生徒の反応、より具体的な学習内容</p>	<p>18 評○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○して</p> <p>いる。 (ワークシート)</p>
<p>3 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○ (1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>段階の大まかな区切りだけでなく、学習活動の区切りにも、予定時間を必要に応じて記入する。</p>	<p>30</p> <p>各活動、段階における生徒の達成状況を指導者が確認するために設定する。「～している」の表現を用いて、生徒の姿で2、3箇所に記述する。</p> <p>() には評価するもの、ことを書く。机間指導等、指導者の活動は書かない。</p>
<p>○ (2) ○○○○○○○○○○○○</p> <p>○ ・○○○○○○○</p> <p>○ ・○○○○○</p>		<p>40 評○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p>○○している。 (話し合い、発表)</p>
<p>○ 4 ○○○○○○○○</p> <p>○ ○○○○○○○○</p>	<p>「本時の目標」が複数ある場合は、それぞれの目標に対応させて「本時の評価基準」を設定する。</p>	

■■○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○している。()

「本時の目標」を生徒が達成したかどうかを見るために設定する。
「～している」の表現を用いて、本時の目標を達成している生徒の姿を具体的に記述する。
() には、評価できるもの、ことを書く。机間指導等、指導者の活動は書かない。
「理解」など認知的な部分を評価する際、指導者が生徒のどのような姿を捉えて、本時の目標を達成したと判断するのかを考え、できるだけ、目に見えたり、耳に聞こえたりした姿を書く。
例：「理解している」→「自分の言葉で説明している」

(1) 学級の実態

(2) 指導の力点

6 指導と評価

–8–